

令和6年度 自己評価・学校関係者評価報告書

認定こども園取手ふたば文化
園長 菊地 さと子

1. 本園の教育目標

めざす幼児像 (1) 健康で元気な子 (2) 友達と仲良く遊べる子 (3) よく考えて行動する子
(4) 最後まで頑張る子 (5) 自然に親しみ思いやりのある子

2. 本年度重点的に取り組む目標・計画

- ・「楽しい!大好き!をさがそう!自分色」というテーマの元、園内研修日に課題を出して、学びあう。
- ・生き生きと園生活を楽しみ、子ども同士の関わり合いが、多く持てる遊びを継続する。
- ・感染症対策を徹底し、自分を守る事は、他者をも守ることを理解できる

3. 評価項目の達成及び取り組み状況

	評価項目	評価	取り組み状況
1	楽しい!大好き!をさがそう自分色!	A	日々の保育の中、職員間で保育を公開しあい、観点を決めて研修を進めていった。担任が保育を楽しむことが前提であり、工夫や創造性などが楽しい保育活動に繋がることを学べた。引き続き、継続していく。
2	生き生きと園生活を楽しみ、子ども同士の関わり合いが多く持てる。遊びを継続する。	A	集団活動の中で、子ども同士の関わり合いが多く持てるように、保育者は子どもに投げかけ、色々な場面で子ども同士の感情などがぶつかり、相手の思いに気づき、自己コントロールできるように進めていった。
3	感染症対策を徹底し、自分を守る事は、他者をも守る事を理解できる	A	行事等、コロナ前に戻すことが出来、ほぼ通常生活になった。子どもたちは、うがい、手洗い、消毒を習慣として取り入れることが出来た。今後も継続していく。

評価 (A…十分に成果があった B…成果があった C…少し成果があった D…成果がなかった)

4. 総合的な評価結果

評価	理 由
A	今年度も、集団活動の中で、創造性豊かに、工夫ある保育活動を実践してきた結果、子ども達の関わり合いが多く持て、相手の思いを感じられるようになった。又、こどもの主体性を大切にしたい保育を考慮してきたので、自ら考え行動できるように意識する園児が多くなった。

評価 (A…十分に成果があった B…成果があった C…少し成果があった D…成果がなかった)

5. 今後取り組む課題

	課 題	具体的な取り組み方法
1	楽しい保育活動	毎日の保育で、まずは、職員が心からこの仕事が楽しいと思える、心身共に健康な状態で従事できるよう、自己啓発していかなければならない。それがあってこそ楽しい、大好き!自分色!の保育を子ども達と作り上げていけると考える。常に好奇心一杯で生き生きと生活出来る保育士と園児集団を目指したい。
2	子ども同士の関わり合い	日々の保育を振り返る事で、子ども同士がどの程度、自己表出し友達とどんな場面に関わり合いをしているのかを確認する事が出来た。そのうえで、様々な感情が生まれ友達の思いを知り、思いやりの気持ち等を持てるようになっていった。
3	感染症対策	3歳以上児は、園バス内ではマスク着用を推奨し他の場面では、個々の対応に任せた。が手洗い、うがい、消毒は引き続き、習慣化していった。家庭にも協力をお願いし、今後も気を抜かず、子ども、職員の安全を守る。

令和6年度 施設関係者評価

上の子からお世話になり、5年間認定こども園取手ふたば文化に通わせていただきました。園長先生をはじめ、全ての先生方が子ども達に深い愛情を持って一緒に遊び、笑い、時に厳しく寄り添いながら幼児期の保育に全力で取り組んでくださいました。

衛生面では自動水栓での手洗いやうがい、手の消毒など感染対策を徹底し、行事だけでなく子ども達の日常の動画配信を行ってくださるなど、ふたばっこや私たち保護者の安全を第一に考えてくださいました。

広く開放的な園庭と目の前にある土手で、四季を感じながら伸び伸びと遊べる環境が整っており、園内の給食室で調理された出来立ての美味しい給食を食べて心身ともに丈夫で豊かにたくましく成長していくのを感じました。

子ども達の命を守りながら個性を尊重し、子どもが主役の教育を実践してくださり、先生方には感謝の気持ちでいっぱいです。

この先も末長く、ふたば文化が子ども達の楽園であり続けることを心から願っております。

令和7年4月
認定こども園 取手ふたば文化
父母の会 会長

令和 6 年度 施設関係者評価

「楽しくなければ こども園ではない」

認定こども園取手ふたば文化は、子どもたちの笑顔と笑い声が響き渡る、まさに子どもたちが主役の楽園です。

開放感あふれる広い園庭の先には広大な土手が広がり、自然の中でのびのびと遊べる素晴らしい環境が整っています。この恵まれた自然の中で、子どもたちは虫や草花と触れ合いながら、かけがえのない思い出を育んでいます。

先生方の温かい眼差しと、一人ひとりを大切にする姿勢が伝わる環境のもと、子どもたちは安心して遊び、学ぶことができます。園長先生をはじめ、すべての先生方の愛情と熱意、そして素晴らしいチームワークこそが、子どもたちが毎日楽しく過ごせる何よりの理由です。先生方は力を合わせ、一人ひとりに真剣に向き合ってくださいするため、子どもたちは心も体も元気いっぱい成長しています。

また、送迎バス内では運転手の先生と添乗の先生がダブルチェックを行うなど、安全への細やかな配慮が徹底されています。それに加え、先生方の笑顔と温かい対応のおかげで、私たち保護者は毎朝安心して子どもを送り出すことができます。

そして忘れてはならないのが、栄養バランスはもちろん、愛情もたっぷり込められた美味しい給食です。ふたばっ子の元気の源であり、子どもたちが毎日楽しみにしているのも納得です。

「たくましく 大地に根をはれ ふたばっ子」

人間形成の土台となる大切な幼児期を、認定こども園取手ふたば文化で過ごせることは、子どもたちにとってかけがえのない財産です。ここでの経験と学びは、これからの人生において大きな力となり、自信へとつながっていくことでしょう。目には見えなくとも、しっかりと根付いた太い根が、これから大きく成長していくことを心から願っています。

最後になりましたが、今年度も行事に参加でき、私たち保護者も大変感激いたしました。安全面への配慮、そして子どもたちや保護者に寄り添う温かい対応に、心より感謝申し上げます。先生方の徹底的な感染症対策のおかげで、子どもたちは安心して楽しく行事に参加することができました。本当にありがとうございました。

令和 7 年 4 月
認定こども園 取手ふたば文化
父母の会 副会長